（様式１）

平成 24 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １２８	**提案機関名**	全農　神奈川県本部
要望問題名　施肥コスト抑制のための「施肥活用手引き」等の作成について（継続）		
要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】 耕畜連携を図り、『地域ごとに農家が実際に活用しやすい(出来る)家畜糞堆肥』を示した堆肥活用による「堆肥活用手引き」等の作成をお願いしたい。		
解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内	
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術センター　③水産技術センター ④自然環境保全センター	
備　考		

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	農業環境研究部
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可		
試験研究課題名　（①、②、④の場合） 地域内肥料資源の適正施用技術の確立 （平成23年度～平成２７年度）			
対応の内容等 各種家畜ふん堆肥の肥料効果の評価方法等については、現在、上記の課題で実施中です。今後、この課題の成果や他機関の堆肥肥効評価に関する情報等を、作物別施肥基準や環境保全型農業の手引き等の、家畜ふん堆肥等有機物の肥効を考慮した施用法に関する記述に反映させていきます。 なお、各地域ごとに生産されている家畜ふん堆肥については、県畜産会のHP（http://kanagawa.lin.gr.jp/taihi/taihimap/taihi_top.html）に掲載されている堆肥流通情報マップ等をご参照ください。			
解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内		
備　考			